

# <そもそも 自立とは？>

=「親なき後」は本人の経験とスキル力が物を言います！= 参考資料「知的障害と警察」

- ※努力しても出来ない事がある
- ※欲しくても手に入らない物がある
- ※上手にやったと思っても、失敗したり怒られたりすることもある
- ※規則正しい生活リズム
- ※ルールとマナーを知る
- ※スマホの使い方（相手や自分の情報を漏らさない など）

「わがままが通らない」事を知り、それを受け入れて生きていく事が「自立」。

<自己責任力！>

でも特性として、それらが理解できない場合はどうする？

助けてくれる人  
教えてくれる人

相談が出来る人  
支えてくれる人

福祉関係者!!! など

そういう存在を準備しておく！ 事が、家族のやるべき事でもあります！

☆自己決定力を上げる ← 本人の「意思尊重」とは、「本人が言ったことをなんでも聞く！」事ではありません！ 正しい判断を導く事です。

★ Ex: 「行きたくない！」 「やりたくない！」 → 「なぜ？一緒に考えよう（選択肢を出す）」の方向性は、考える力をのばし、コミュニケーションにもなります☆

※年齢に限らず「イヤでも、いう事を聞かなければならない事」はありますよね。 ← 「協調性！」

☆チャレンジする事と経験値を上げる事！ ← なんでもやってあげてませんか？

「出来ない」のではなく

- 「教えて(考えさせて) いない」
- 「経験させていない」
- 「関係者側がチャレンジ出来ない」

「特性 / こだわり」 だからは理由(言い訳) になりません！

ではないですか？

「子どもにやらせる」 のではなく、家族や福祉など関わる側の意識の問題でもあります

「寝めて伸ばす！」 ← スイッチ的には、これは小学4年生まで！

5年生からは、出来る事は「認める」 チャレンジしたことは「寝める」です。

なんでもかんでも寝めても、伸びません！

今日の活動ポイント！

# <靴ひも通しトレ>

新しい事を行うときのスイッチのやり方！

- ①「説明 / (やり方) 見せる」 は敢えて行わない！
- ② 先ずは、お手本を (があれば) 見て、自分でやってみる！

↓ この様子を見て

リボン結びに大苦戦！

- 各工程において、「どこが分からない / 出来ない」かを判断する。
- 「分からない / 出来ない」部分に関しての穴埋め方式で伝える(説明する)。
- 最終的に、始め(準備) から終わり(片付け) までを1人で出来るか確認を行う。

通すことがどうしても苦手な子は、「ヒモを外す！」作業を行っています。 ← 指先トレ！

